

2023年 5月 2日
茨城県保健医療部健康推進課
課長補佐（総括）庄司（内線 3220）
直通：029-301-3220

茨城県肝炎医療コーディネーターステップアップ講習会受講者に係る 個人情報の流出事案について

健康推進課において、肝炎医療コーディネーター^{*}の更新に係るステップアップ講習会の受講結果を受講者番号のみホームページに掲載するべきところ、個人情報を含む受講者名簿を併せて掲載していた事案を4月26日に公表したところですが、その後、謝罪文を郵送した際に、誤った住所に送付してしまった事案が発生しましたので、公表いたします。

関係者並びに県民の皆様の信頼を損ねる事案を重ねて起こしてしまったことを深くお詫び申し上げますとともに、同様の事案を発生させないよう、再発防止に努めてまいります。

※肝炎医療コーディネーターとは、医療機関等で肝炎患者の治療や医療費、就労などの相談を行う者

1 流出のあった個人情報

肝炎医療コーディネーターの所属機関名、氏名 1名分

2 事実の経緯

- 職員Aが、住所と所属機関名が記載してある名簿一覧から宛名ラベル一覧を作成した際に、所属機関の住所を1か所、誤って貼り付けてしまった。
- 本来であれば、住所と所属機関名が記載してある名簿一覧と宛名ラベルをチェックすべきところを、職員Bが印刷した住所の記載のない名簿一覧を用いて複数人でチェックし、4月26日（水）に発送した。
- 4月28日（金）15時30分に誤送付先の所属機関から、「他機関宛の封書が届いたので、内容を確認したところ、他機関宛での書類が入っていた。」と受電あり。
- 4月28日（金）19時15分に個人情報流出対象者に謝罪連絡をするため、所属機関に架電し、個人情報流出対象者への連絡を依頼した。
- 5月1日（月）に所属機関に連絡し、個人情報流出対象者からの受電がないため、再度連絡方法を調整しているところ。

3 原因

- 名簿一覧から宛名ラベル一覧を作成する際に、データの貼り付け作業を誤った。
- 確認すべき名簿一覧に住所が記載されておらず、宛名ラベルの住所の誤りに気づけなかった。
- 作業の手順や発送前のチェック方法などの共有が徹底されていなかった。

4 再発防止策

- 個人情報を郵送する際は、宛名作成時、封入時、発送時の作業ごとに複数名で確認する。
- 事前に作業の手順や発送前のチェック方法などについて、共有することを徹底する。
- 課員全員に対して、個別に情報セキュリティポリシーの遵守徹底と、個人情報を扱う業務における点検を指示し、再教育をしたうえで再発防止の徹底を図る。